

第57回 東京都会計基準委員会 議事要旨

【開催日時等】

- 日 時 令和4年3月17日(木) 14時00分～15時00分
- 開催形態 Web会議システムを利用した遠隔会議
- 出席委員 公認会計士 清水涼子
公認会計士 薄井 誠
公認会計士 中村 徹

【議題】

- ・ 開 会
 - (1) 令和2年度財務諸表監査の結果について
 - (2) その他

【配付資料】

- 資料1 令和2年度財務諸表監査の結果について
- 資料2 海外自治体における公会計の活用について

【議事内容】

開会にあたって、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、Web会議システムを活用した遠隔会議にて進める旨を事務局より説明した。

委員会では、議題に沿って以下のような内容の協議や意見交換が行われた。

(1) 令和2年度財務諸表監査の結果について

事務局より、資料1を用いて、令和2年度財務諸表監査の結果と、これを受けての取組について、都における著作権の取得価格の考え方及び資産計上の取扱いを報告した。

(定例監査の意見・要望事項について)

- ・ 都の内部で作成した著作物には著作権として資産計上になじまない内容が含まれているのではないかと思う。
- ・ 著作権に係る費用を一括で計上するのではなく、内容を見て計上する費用の範囲を判断すべきと考える。

→引き続き公有財産台帳を所管する財務局と調整を進めていく。(事務局)

(2) その他について

事務局より、資料2を用いて、令和3年度に実施した海外自治体における公会計の活用に関する委託調査について報告した。

(発生主義決算の意義について)

- ・海外自治体における公会計の活用事例を通じて、都の取組が重要であることが再認識できた。

(予算決算への活用について)

- ・都の予算における公会計の活用事例について教えて欲しい。
→事業評価等で一部会計情報を用いて分析を進めている。(事務局)

(自治体間比較について)

- ・一定の自治体の特徴等を踏まえて経年比較や自治体間比較を行うことは有意義であるため、取組を継続して発展させてほしい。
→今後も検討部会等を通じて比較指標の検討を進めていく。(事務局)

以上